

## 平成27年度組織目標中間評価シート

部局名：琵琶湖環境部温暖化対策課

番号	目標項目	目標値・目標の内容	進捗状況 (目標の達成状況および 達成に向けた取組の実施状況等)	年度末 達成見込	目標達成が困難 と見込まれる場合の原因	今後の対応方針 (目標達成に向けた取組および スケジュール等)	知事または 副知事からの 指摘・指示 への対応
①	低炭素社会づくりの推進に関する条例の検証、低炭素積運づくり推進計画の改定に向けた検討	①条例見直しの検討 本年度中に、条例の施行状況等について検証を行い、必要な措置について検討する。	・7月に決定された国の目標に関する情報を収集するとともに、推進計画の進捗状況の検証を行っている。	◎		・11月に開催予定の環境審議会温暖化対策部会で推進計画の改定について諮問する予定。併せて、推進計画の進捗状況の検証結果等を報告する。 ・環境審議会への諮問の後、市町等への説明、意見交換をする場を設ける。	
		②推進計画の改定に向けた検討 本年度中に、行程表および推進計画の進捗状況について検証を行う。		◎			
		③本年度中に滋賀県や琵琶湖における気候変動やその影響の分析・予測を行い、結果について県民と共有する。 平成28年度に、影響評価結果を踏まえた適応策を策定し、推進計画に盛り込む。	・気候変動やその影響の分析・予測については、環境省の支援を受けて実施している。 ・7月に庁内関係所属で構成する庁内WGを立ち上げ、気候変動の影響分析・予測についての情報共有を行うとともに、各分野における適応策の検討を始めた。	◎	・年度内に気候変動の影響分析・予測を取りまとめる。 ・引き続き、庁内WGにおいて情報共有を図るとともに、各分野における適応策を検討する。		
②	低炭素社会づくり学習の推進	・低炭素社会づくり学習講座の受講者数 15,000人 (H27からH30の累計) ・平成27年度の低炭素社会づくり学習講座の受講者数 3,750人	・8月末の実施状況 地域：36講座 1,090人受講 学校：28講座 939人受講 計 64講座 2,029人受講	◎		・引き続き、県教育委員会や市町と連携して、低炭素社会づくり学習支援の周知と取組の誘導を行う。	
③	次世代自動車の普及推進	・「(仮称)滋賀県次世代自動車普及方針」の策定 ・燃料電池自動車を公用車に導入(1台)し普及のための啓発を実施	・滋賀県地球温暖化対策自動車・運輸部門会議(関係団体で構成)で現状を説明の上、次世代自動車の普及にあたっての課題、意見等を聴取し、方針の原案を作成している。 ・10月7日(水)に燃料電池自動車を導入する(民間企業からの寄付)。	◎		・方針の原案を関係機関や団体等に意見照会などを行い、年度末までに方針を作成する。 ・導入した燃料電池車は主として知事公用車として使用するとともに、びわ湖環境ビジネスメッセ2015(10/21~10/22)で展示をするなど多くの県民の目に触れていただくことにより普及啓発を図る。	
④	県の紙使用量の削減	年間のPPC用紙購入枚数を平成21年度(基準値93,870千枚)以下にする。	・タブレットなどICT導入による紙削減の調査検討の実施。 ・用紙を繰り返し再利用できる印刷機の追加導入の実施(3台追加導入)。 ・紙削減の徹底を全職場あてに通知。	△	・両面印刷などの徹底に取り組んでいるものの、計画策定や制度改正に伴う周知等による紙の増加が多い。	・ペーパーレス会議の取組を拡大する。 ・具体的な紙削減手法を記載した取組事例集による周知・啓発を実施する。	

・「年度末達成見込」の欄は、年度末の目標の達成について  
◎達成可能、○概ね達成できる(80%以上)見込み、△達成がやや困難、×達成は困難 を記入しています。